

2023年版 環境経営レポート



発行年月日 2024年 8月27日

株式会社 日化住宅機器



® 環境省

エコアクション21

認証番号0013201

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営活動への取組の全体概要
6. 環境経営目標
7. 環境経営活動計画
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営活動計画の取組結果とその評価
10. 次年度の取組内容
 - (1) 環境経営目標
 - (2) 環境経営活動計画
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
12. 代表者による全体評価と見直しの結果
13. その他の取組

発行日：2024年 8月27日

発行責任者：環境管理責任者 永井 資士

1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 日化住宅機器

【代表者氏名】 代表取締役 永井 資士

【所在地】

本社 〒786-0005 高知県高岡郡四万十町本町9-5

高知営業所 〒781-0241 高知県高知市横浜新町4-410

車庫 〒786-0016 高知県高岡郡四万十町大井野字カスガデン467-5

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 代表取締役 永井 資士

連絡先担当者 永井 仁美

連絡先 TEL : 0880-22-0407

FAX : 0880-22-0606

E-mail : nikka@angel.ocn.ne.jp

ホームページ : nikkajyutaku.com

【事業活動の内容についての簡単な記述】

給排水衛生設備工事、浄化槽設備工事、空調換気設備工事、電気設備工事、
水道施設工事（水道本管工事）、消防施設工事、建築工事 を行っています。

建設業許可

許可番号 高知県知事 許可（特-3）第87号

許可年月日 令和3年9月20日

建設業の種類 土木工事業、電気工事業、管工事業、水道施設工事業、消防施設工事業、建築工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和44年12月10日

資本金 3,000万円

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高 (千円)	201,870	227,032	112,885	226,094	170,146
従業員数 (名)	10	10	10	9	9
事業所敷地面積 (m ²)	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520
事業所延べ床面積 (m ²)	1,595	1,595	1,595	1,595	1,595

従業員数は、6月30日現在

会計年度 7月1日～6月30日

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

株式会社日化住宅機器 全社

本社	〒786-0005	高知県高岡郡四万十町本町9-5	(常駐者: 9名)
高知営業所	〒781-0241	高知県高知市横浜新町4-410	(常駐者: 0名)
車庫	〒786-0016	高知県高岡郡四万十町大井野字カスガデン467-	(常駐者: 0名)

事業活動: 土木工事業、電気工事業、管工事業、水道施設工事業、消防施設工事業、
浄化槽工事業、建築工事業

【レポートの対象期間】

2023年7月～2024年6月

【環境経営レポートの発行日】

2024年8月21日

【次回環境経営レポートの発行日】

2025年8月頃

【作成責任者】

環境管理責任者

代表取締役 永井 資士

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に	○	寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

株式会社日化住宅機器は、高知県高岡郡四万十町で、給排水衛生設備工事、水道施設工事、空調換気設備工事を主体とした事業を行っています。四万十川流域地域の自然環境を守り、建設工事におけるあらゆる場面において環境保全を意識し、継続的改善による環境経営を行なっていきます。

【基本方針】

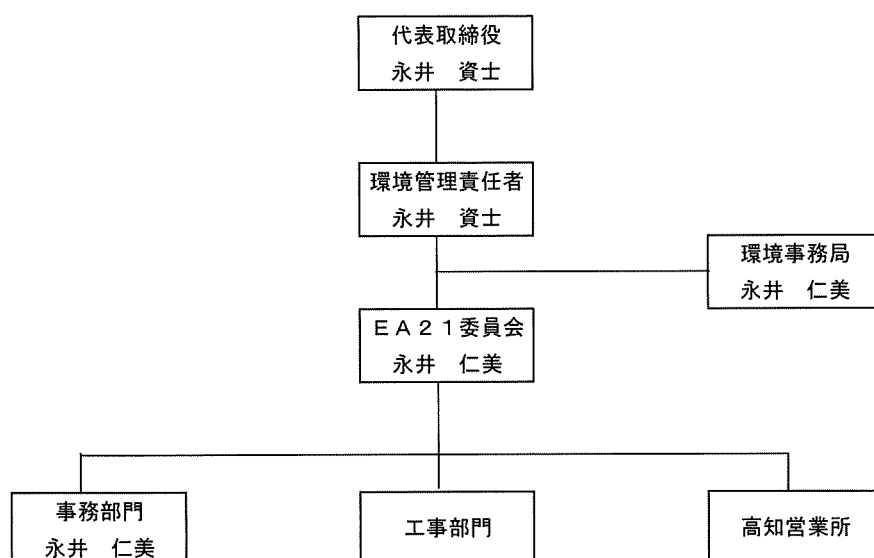
1. 工事における、環境負荷の少ない工事を行っています。
2. 車両の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事務所・現場における電力使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
4. 事業活動における廃棄物排出量の削減・再利用・サイクルを行います。
5. 事業活動における水使用量の削減により排水量を削減します。
6. 工事における化学物質排出について配慮します。
7. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
8. 環境経営方針は広く従業員に周知徹底します。
9. 環境経営レポート等環境情報について広く外部公表いたします。

2019年12月10日

代表取締役

永井 資士

4. 環境管理組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・代表者による全体評価と見直し実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	・自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に係る環境経営計画の実施、達成状況報告 ・自部門に係る緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境経営目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

○燃料使用量は、現場の距離や工事内容と関係しており特に近年は遠方の現場が多く未達成になっております。これらのことから、目標値を見直す事にしました。

○環境美化活動については、四万十町の清掃活動（2回）実施しております。

<㈱日化住宅機器 の物質フロー>（2023年度 7月～6月）

<INPUT>

電力 10,916 kWh

燃料 6,958 L

用水 283 m³

原材料 244.5 t



<OUTPUT>

CO₂ 22454.9 kg-CO₂

排水 283 m³

廃棄物 29.85 t

6. 環境経営目標

2023年度

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.7-2021.6	目標 2023年度 2023.7-2024.6	
売上高		百万円	227.0	232.0	* (1)
燃料使用量					
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	3,505	3,400	
	原単位	(ℓ/百万円)	15.44	14.66	
軽油使用量	総量	(ℓ)	1,687	1,637	
	原単位	(ℓ/百万円)	7.43	7.06	
灯油使用量	総量	(ℓ)	465	452	
	原単位	(ℓ/百万円)	2.05	1.95	
電力使用量	総量	(kWh)	11,107	10,774	
	原単位	(kWh/百万円)	48.93	46.44	
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	20,203	19,597	
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	89.00	84.47	
水使用量	総量	(m ³)	340	330	
	原単位	(m ³ /百万円)	1.50	1.42	
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	183	178	
	原単位	(kg/百万円)	0.81	0.77	
産業廃棄物排出量	総量	(t)	66.05	64.00	
	原単位	(t/百万円)	0.291	0.276	
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	98.2	98.5	
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	11件/11件	100	* (2)
環境美化活動	総量	(回)	1	2	* (3)

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数（平成29年度実績）

（平成30年12月27日公表）の四国電力の調整後排出係数0.535（kg-CO₂ / kWh）を使用した。

* 2. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用

○低騒音、排出ガス対策型機械の使用

○省エネ型空調機設置

○節水型トイレ設置

* (1) : 売上高は年間数値とした

* (2) : 環境負荷の少ない工事は年間工事での比率とする

* (3) : 四万十町の環境美化イベント参加回数及び自主活動の回数の合計

* (4) : 化学物質排出量は目標にはしていませんが、活動計画では取組んでいます。

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度	目標 2023年度	目標 2024年度	目標 2025年度
売上高		百万円	227.0	232.0	236.0	240.0
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	3,505	3,400	3,298	3,200
	原単位	(ℓ/百万円)	15.44	14.66	13.97	13.33
軽油使用量	総量	(ℓ)	1,687	1,637	1,588	1,541
	原単位	(ℓ/百万円)	7.43	7.06	6.73	6.42
灯油使用量	総量	(ℓ)	465	452	439	426
	原単位	(ℓ/百万円)	2.05	1.95	1.86	1.78
電力使用量	総量	(kWh)	11,107	10,774	10,451	10,138
	原単位	(kWh/百万円)	48.93	46.44	44.28	42.24
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	20,203	19,597	19,010	18,440
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	89.00	84.47	80.55	76.83
用水使用量	総量	(m ³)	340	330	321	312
	原単位	(m ³ /百万円)	1.50	1.42	1.36	1.30
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	183	178	173	168
	原単位	(kg/百万円)	0.81	0.77	0.733	0.700
産業廃棄物排出量	総量	(t)	66.05	64.00	62.00	60.00
	原単位	(t/百万円)	0.291	0.276	0.263	0.250
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	98.2	98.5	98.8	99.1
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	11件/11件	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	1	1	1	1

7. 環境経営計画 (2023年度)

期間：2023年7月 ～ 2024年6月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量	燃料使用量	○エコ運転の実施	中村哲生	7月～6月
		○不要物の積載禁止	中村哲生	7月～6月
		○安全運転の励行及び法定速度の遵守	中村哲生	7月～6月
		○複数の人数で行く場合は、相乗りで行く	中村哲生	7月～6月
		○バックホウのエコ運転		
		掘削積込み作業時は回転数を下げる	中村哲生	7月～6月
		旋回角度を90度以下にする	中村哲生	7月～6月
	電力使用量	○不在箇所の消灯	永井仁美	7月～6月
		○昼休み、帰宅時の消灯	永井仁美	7月～6月
		○パソコン不使用時のモニター電源OFF	永井仁美	7月～6月
		○空調機の温度管理（こまめに設定温度を変更）	永井仁美	7月～6月
		○ノー残業デーの実施	永井仁美	7月～6月
用水使用量削減		○食器のまとめ洗い	永井仁美	7月～6月
		○節水シール貼付による啓発	永井仁美	7月～6月
		○漏水の点検	永井仁美	7月～6月
		○井戸水の併用	永井仁美	7月～6月
廃棄物削減	一般廃棄物	○印刷前のチェック	永井仁美	7月～6月
		○ごみの分別	永井仁美	7月～6月
		○コピー用紙の裏紙使用	永井仁美	7月～6月
		○両面コピー、両面印刷	永井仁美	7月～6月
		○過剰包装の辞退	永井仁美	7月～6月
		○共有データの使用で紙印刷を抑制	永井仁美	7月～6月
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別	中村哲生	7月～6月
		○工事の端材の発生をできるだけ抑制する	中村哲生	7月～6月
		○産業廃棄物はできるだけ再資源化業者に委託	中村哲生	7月～6月
化学物質排出量削減		○化学物質使用量の把握	中村哲生	7月～6月
		○化学物質の入っていない材料をできるだけ使用する	中村哲生	7月～6月
環境負荷の少ない工事		○環境負荷の少ない材料の使用	中村哲生	7月～6月
		○低騒音、排出ガス対策型機械の使用	中村哲生	7月～6月
		○省エネ型空調機設置	中村哲生	7月～6月
		○節水型トイレ設置	中村哲生	7月～6月
		○使用に見合った能力製品を選定する	中村哲生	7月～6月

8. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績 (2023年度)

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.7-2021.6	目標 2023年度 2023.7-2024.6	実績 2023年度 2023.7-2024.6	実績値/目標値 (%)	評価
売上高		百万円	227.0	232.0	170.1		
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	3,505	3,400	5,042	148.29	×
	原単位	(ℓ/百万円)	15.44	14.66	29.64	202.26	×
軽油使用量	総量	(ℓ)	1,687	1,637	1,629	99.51	○
	原単位	(ℓ/百万円)	7.43	7.06	9.58	135.72	×
灯油使用量	総量	(ℓ)	465	452	287	63.50	○
	原単位	(ℓ/百万円)	2.05	1.95	1.69	86.60	○
電力使用量	総量	(kWh)	11,107	10,774	10,916	101.32	×
	原単位	(kWh/百万円)	48.93	46.44	64.17	138.19	×
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	20,203	19,597	22,454	114.58	×
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	89.00	84.47	132.00	156.27	×
水使用量	総量	(m ³)	340	330	283	85.76	○
	原単位	(m ³ /百万円)	1.50	1.42	1.66	116.97	×
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	183	178	195	109.55	×
	原単位	(kg/百万円)	0.81	0.77	1.15	149.42	×
産業廃棄物排出量	総量	(t)	66.05	64.00	29.66	46.34	○
	原単位	(t/百万円)	0.291	0.276	0.17	63.21	○
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	98.2	98.5	47.9	48.63	×
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	11件/11件	100	100	100.00	○
環境美化活動	総量	(回)	1	2	2	100.00	○

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数（平成29年度実績）
（平成30年12月27日公表）の四国電力の調整後排出係数0.535（kg-CO₂ / kWh）を使用した。

* 2. 環境負荷の少ない工事
○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
○低騒音、排出ガス対策型機械の使用
○省エネ型空調機設置
○節水型トイレ設置

* (1) : 売上高は年間数値とした
* (2) : 環境負荷の少ない工事は年間工事での比率とする
* (3) : 四万十町の環境美化イベント参加回数及び自主活動の回数の合計

<環境経営目標達成及び未達成等理由>

(総量)

- ・ガソリン : 遠方の現場が多かったため、ガソリンの使用が増加した。
- ・軽油 : 小型の重機を購入した効果で軽油の使用が減少した。
- ・灯油 : ノー残業デーの実施の効果で灯油の使用が減少した。
- ・電力 : 電気の消費はエアコンの使用が大きい、わずかながら増加している。
- ・CO₂排出量 : ガソリンの使用量が多くCO₂排出量が増加した。
- ・水 : 車両の洗車は井戸水を使用することで用水の使用量が減少した。
- ・一般廃棄物排出量 : 紙類（主に郵便物）の排出量が増加した。
- ・産業廃棄物排出量 : コンクリート及びアスファルトの排出が少なく減少した。
- ・産業廃棄物再資源化率 : 建設混合廃棄物の量が増加したため、再資源化率が減少した。

(原単位)

- ・売上が低かった為、原単位が増加した。

<過去の実績>

項目	総量・原単位	単位	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績
売上高		百万円	295.8	221.4	227	112.8	226
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	3,136	2,722	3505	3,807	5,202
	原単位	(ℓ/百万円)	10.60	12.30	15.44	33.75	23.02
軽油使用量	総量	(ℓ)	1,457	2,221	1687	2,407	3,180
	原単位	(ℓ/百万円)	4.93	10.03	7.43	21.34	14.07
灯油使用量	総量	(ℓ)	490	424	465	460	442
	原単位	(ℓ/百万円)	1.66	1.92	2.05	4.08	1.96
電力使用量	総量	(kWh)	12,703	12,704	11,107	11,363	10,779
	原単位	(kWh/百万円)	42.94	57.38	48.93	100.74	47.69
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	19,050	19,897	20,203	22,266	27,246
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	64.40	89.87	45.33	197.39	120.56
水使用量	総量	(m ³)	347	305	340	348	319
	原単位	(m ³ /百万円)	1.17	1.38	1.50	3.09	1.41
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	211	189	183	195	193
	原単位	(kg/百万円)	0.71	0.85	0.81	1.73	0.85
産業廃棄物排出量	総量	(t)	31.76	43.02	66.05	26.52	34.66
	原単位	(t/百万円)	0.1074	0.19	0.29	0.24	0.15
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	94.5	92.4	98.2	96.6	93.4
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	9件/10件	11件/11件	11件/11件	8件/8件	12件/12件
環境美化活動	総量	(回)	1	1	1	2	2

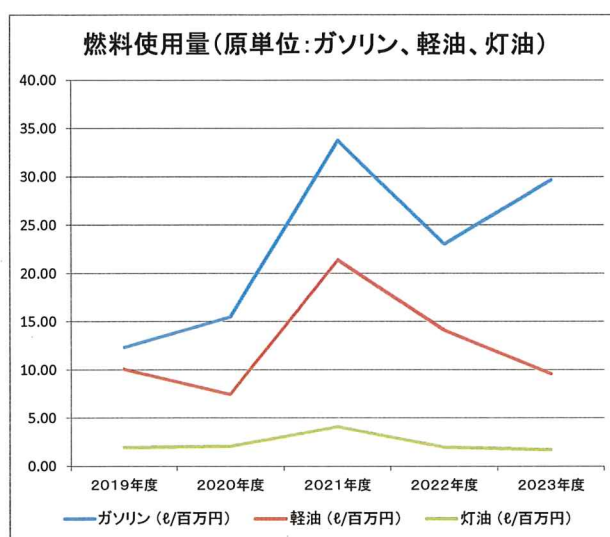
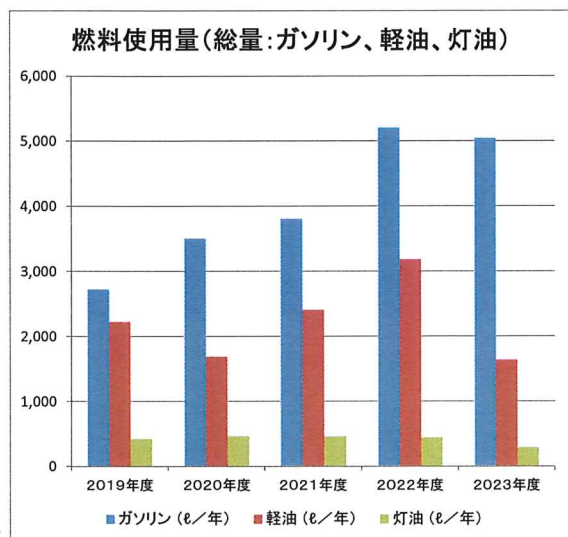
項目	総量・原単位	単位	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
売上高		百万円	170.1				
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	5,042				
	原単位	(ℓ/百万円)	29.64				
軽油使用量	総量	(ℓ)	1,629				
	原単位	(ℓ/百万円)	9.58				
灯油使用量	総量	(ℓ)	287				
	原単位	(ℓ/百万円)	1.69				
電力使用量	総量	(kWh)	10,916				
	原単位	(kWh/百万円)	64.17				
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	22,454				
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	132.00				
水使用量	総量	(m ³)	283				
	原単位	(m ³ /百万円)	1.66				
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	195				
	原単位	(kg/百万円)	1.15				
産業廃棄物排出量	総量	(t)	29.66				
	原単位	(t/百万円)	0.17				
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	47.9				
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100				
環境美化活動	総量	(回)	2				

燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)
2019年度	2,722	2,221	424
2020年度	3,505	1,687	465
2021年度	3,807	2,407	460
2022年度	5,202	3,180	442
2023年度	5,042	1,629	287

燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)	灯油 (ℓ／百万円)
2019年度	12.30	10.03	1.92
2020年度	15.44	7.43	2.05
2021年度	33.75	21.34	4.08
2022年度	23.02	14.07	1.96
2023年度	29.64	9.58	1.69

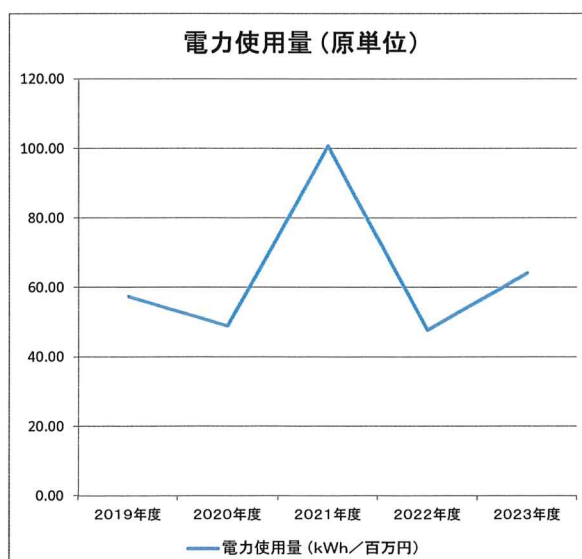
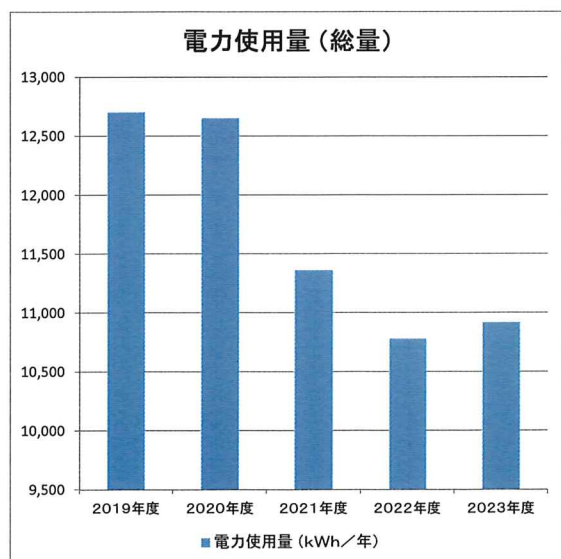


電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2019年度	12,704
2020年度	12,650
2021年度	11,363
2022年度	10,779
2023年度	10,916

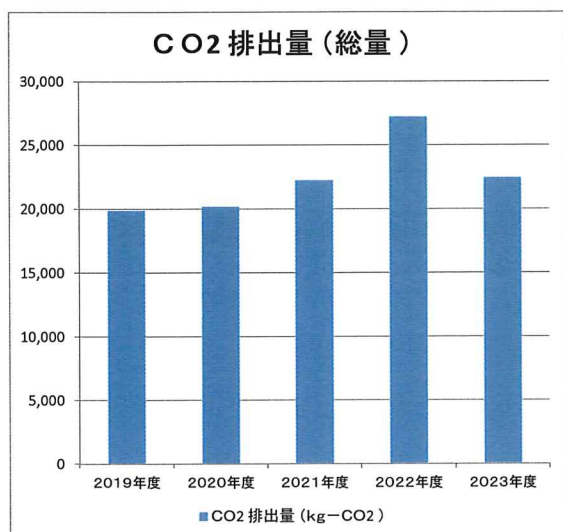
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)
2019年度	57.38
2020年度	48.93
2021年度	100.74
2022年度	47.69
2023年度	64.17



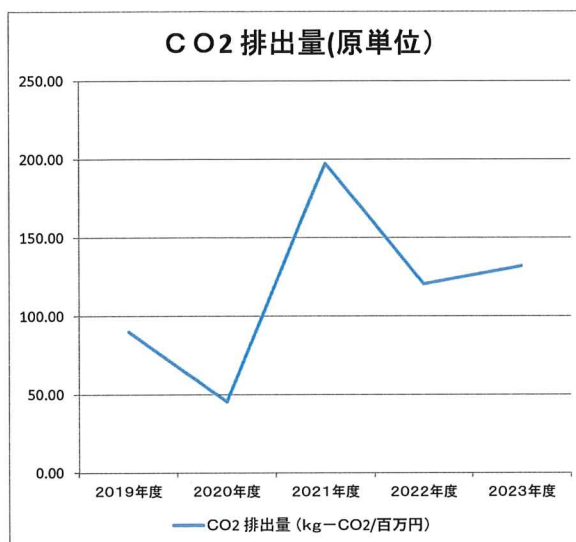
CO₂ 排出量（総量：（k g－CO₂）

年度	CO ₂ 排出量 (k g－CO ₂)
2019年度	19,897
2020年度	20,203
2021年度	22,266
2022年度	27,246
2023年度	22,454



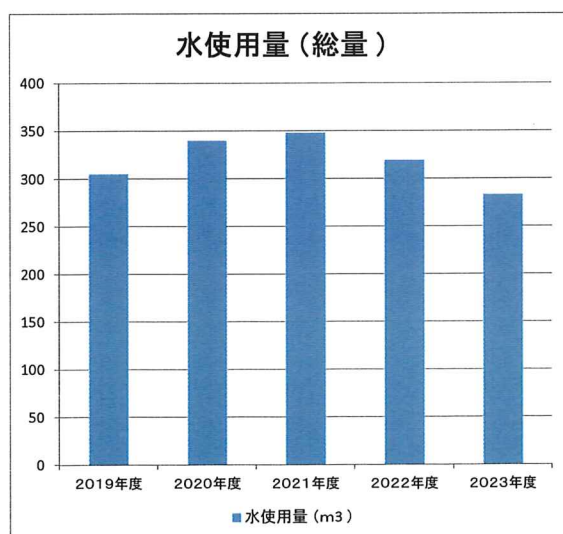
CO₂ 排出量（原単位：k g－CO₂/百万円）

年度	CO ₂ 排出量 (k g－CO ₂ /百万円)
2019年度	89.87
2020年度	45.33
2021年度	197.39
2022年度	120.56
2023年度	132.00



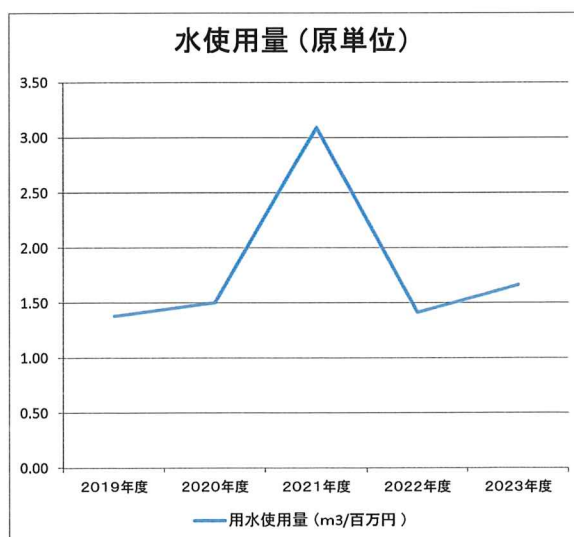
水使用量（総量：m³）

年度	水使用量 (m ³)
2019年度	305
2020年度	340
2021年度	348
2022年度	319
2023年度	283



水使用量(原単位：m³/百万円)

年度	用水使用量 (m ³ /百万円)
2019年度	1.38
2020年度	1.50
2021年度	3.09
2022年度	1.41
2023年度	1.66

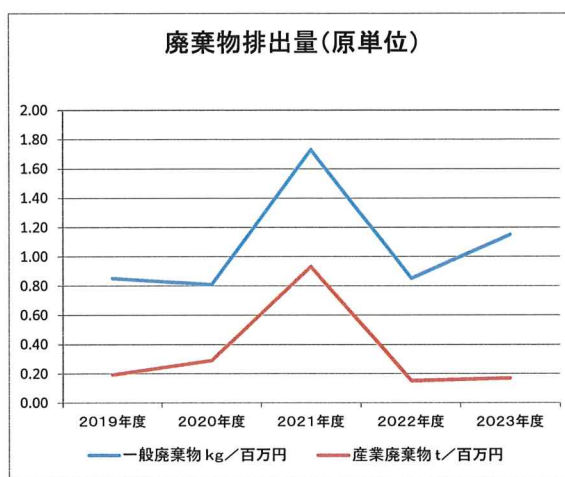
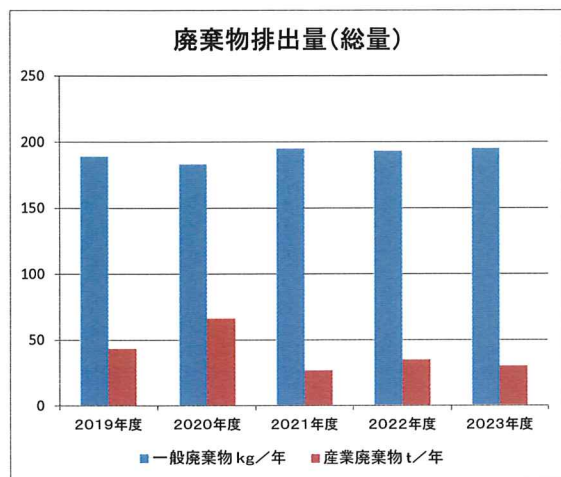


廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)
 単位:一般廃棄物 kg/年
 単位:産業廃棄物 t/年

年度	一般廃棄物 kg/年	産業廃棄物 t/年
2019年度	189	43.02
2020年度	183	66.05
2021年度	195	26.52
2022年度	193	34.66
2023年度	195	29.66

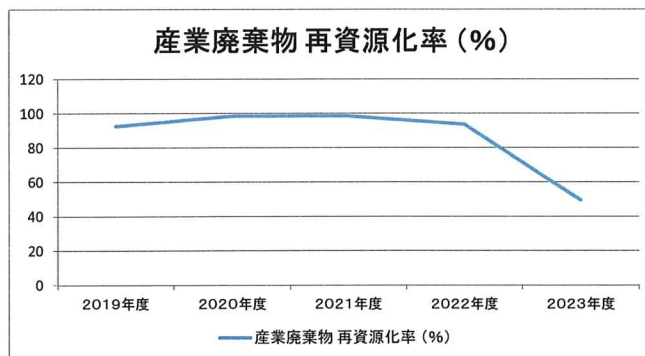
廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)
 単位:一般廃棄物 kg/百万円
 単位:産業廃棄物 t/百万円

年度	一般廃棄物 kg/百万円	産業廃棄物 t/百万円
2019年度	0.85	0.19
2020年度	0.81	0.29
2021年度	1.73	0.93
2022年度	0.85	0.15
2023年度	1.15	0.17



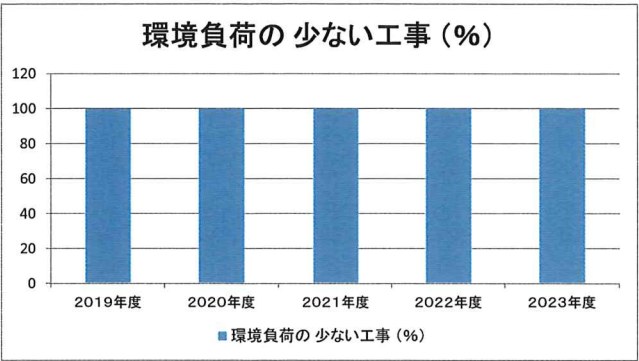
産業廃棄物再資源化率 (%)

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2019年度	92.4
2020年度	98.2
2021年度	98.2
2022年度	93.4
2023年度	49.5



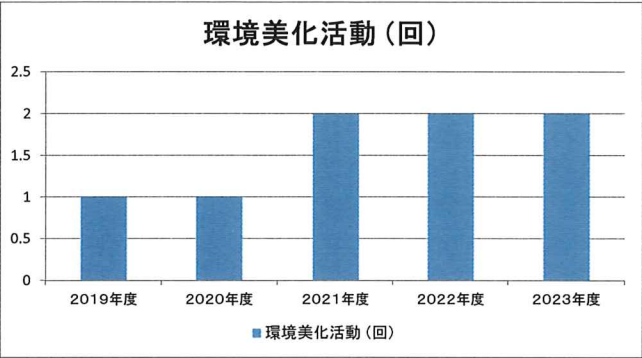
環境負荷の少ない工事(%)

年度	環境負荷の 少ない工事 (%)
2019年度	100
2020年度	100
2021年度	100
2022年度	100
2023年度	100



環境美化活動(回)

年度	環境美化活動 (回)
2019年度	1
2020年度	1
2021年度	2
2022年度	2
2023年度	2



9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：2023年7月 ～ 2024年6月 2023年度

項目		活動内容	取組結果	評価及び見直し	
				上半期	下半期
CO2 排出量削減	燃料使用量削減	○エコ運転の実施	○	全社員が意識し、実行できている	出来ている この取組を継続する
		○不要物の積載禁止	△	個人差がある 徹底できるよう注意喚起	個人差がある 徹底できるよう注意喚起
		○安全運転の励行及び法定速度の遵守	○	全社員が意識し、実行できている	出来ている この取組を継続する
		○複数の人数で行く場合は、相乗りで行く	△	近距離の現場での更なる徹底	近距離の現場での更なる徹底
		○バックホウのエコ運転			
		掘削積込作業時は回転数を下げる	△	大部分で出来ている 更なる徹底できるよう注意喚起	大部分で出来ている 更なる徹底できるよう注意喚起
		旋回角度を90度以下にする	△	現場による 創意工夫をしていく	現場による 創意工夫をしていく
	電力使用量削減	○不在箇所の消灯	○	出来ている この取組を継続する	出来ている この取組を継続する
		○昼休み、帰宅時の消灯	○	全社員が意識し、実行できている	出来ている この取組を継続する
		○パソコン不使用時のモニター電源OFF	○	全社員が意識し、実行できている	出来ている この取組を継続する
		○空調機の温度管理（こまめに設定温度を変更）	○	こまめに設定温度を変えて対応 扇風機、サーキュレーターを併用	窓にシートを張り、取組している
		○ノー残業デーの実施	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
用水使用量削減 （排水量削減）		○食器のまとめ洗い	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○節水シール貼付による啓発	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○漏水の点検	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○井戸水の併用	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
廃棄物削減	一般廃棄物	○印刷前のチェック	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○ごみの分別	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○コピー用紙の裏紙使用	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○両面コピー、両面印刷	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○過剰包装の辞退	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○共有データの使用で紙印刷を抑制	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○工事の端材の発生をできるだけ抑制する	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○産業廃棄物はできるだけ再資源化業者に委託する	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
化学物質排出量削減		○化学物質使用量の把握	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○化学物質の入っていない材料をできるだけ使用する	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
環境負荷の少ない工事		○環境負荷の少ない材料の使用	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○低騒音、排出ガス対策型機械の使用	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○省エネ型空調機設置	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○節水型トイレ設置	○	出来ている	出来ている この取組を継続する
		○使用に見合った能力製品を選定する	○	出来ている	出来ている この取組を継続する

※取組結果 ○：取組は良好 △：取組が不十分 ×：取組が出来ていない

具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減



パソコン不使用時のモニター電源OFF

パソコン不使用時は、スクリーンセーバーの使用や長時間不在時の時は、電源OFFを行い、節電に努めています。



ノー残業デーの実施

ノー残業デーの実施し使用電力の削減に努めています。



窓にシートを貼付

窓に気泡緩衝材を貼付し、断熱効果を高めています。

2. 用水使用量の削減



節水シール貼付

本社事務所内の水道蛇口（2ヶ所）に節水シールを貼付け、啓発を計っています。

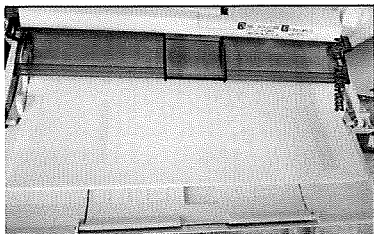


井戸水の併用

車両及び道具等を洗う時は井戸水を利用してます。

3. 廃棄物の削減

(1) 一般廃棄物の削減



コピー用紙の裏紙使用、両面コピー

ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また両面コピーを実施することにより、年間でコピー用紙の使用量を削減しました。

10. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

(2024年度)

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.7-2021.6	目標 2024年度 2024.7-2025.6
売上高		百万円	227.0	236.0
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	3,505	3,298
	原単位	(ℓ/百万円)	15.44	13.97
軽油使用量	総量	(ℓ)	1,687	1,588
	原単位	(ℓ/百万円)	7.43	6.73
灯油使用量	総量	(ℓ)	465	439
	原単位	(ℓ/百万円)	2.05	1.86
電力使用量	総量	(kWh)	11,107	10,451
	原単位	(kWh/百万円)	48.93	44.28
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	20,203	19,010
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	89.00	80.55
水使用量	総量	(m ³)	340	321
	原単位	(m ³ /百万円)	1.50	1.36
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	183	173
	原単位	(kg/百万円)	0.81	0.73
産業廃棄物排出量	総量	(t)	66.05	62.00
	原単位	(t/百万円)	0.291	0.263
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	98.2	98.8
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	11件/11件	100
環境美化活動	総量	(回)	1	1

*(1)

* 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数（平成29年度実績）

（平成30年12月27日公表）の四国電力の調整後排出係数0.535（kg-CO₂/kWh）を使用した。

* 2. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用

○低騒音、排出ガス対策型機械の使用

○省エネ型空調機設置

○節水型トイレ設置

* (1) : 四万十町の環境美化イベント参加回数

* (2) : 化学物質排出量は目標にはしていませんが、活動計画では取り組んでいます。

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度	目標 2023年度	目標 2024年度	目標 2025年度
売上高		百万円	227.0	232.0	236.0	240.0
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	3,505	3,400	3,298	3,200
	原単位	(ℓ/百万円)	15.44	14.66	13.97	13.33
軽油使用量	総量	(ℓ)	1,687	1,637	1,588	1,541
	原単位	(ℓ/百万円)	7.43	7.06	6.73	6.42
灯油使用量	総量	(ℓ)	465	452	439	426
	原単位	(ℓ/百万円)	2.05	1.95	1.86	1.78
電力使用量	総量	(kWh)	11,107	10,774	10,451	10,138
	原単位	(kWh/百万円)	48.93	46.44	44.28	42.24
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	20,203	19,597	19,010	18,440
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	89.00	84.47	80.55	76.83
水使用量	総量	(m ³)	340	330	321	312
	原単位	(m ³ /百万円)	1.50	1.42	1.36	1.30
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	183	178	173	168
	原単位	(kg/百万円)	0.81	0.77	0.733	0.700
産業廃棄物排出量	総量	(t)	66.05	64.00	62.00	60.00
	原単位	(t/百万円)	0.291	0.276	0.263	0.250
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	98.2	98.5	98.8	99.1
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	11件/11件	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	1	1	1	1

10. 次年度の取組内容

(2) 環境経営計画 (2024年度)

期間：2024年7月 ～ 2025年6月

項目		活動内容	担当者	期間
C O 2 排 出 量	燃料使用量	○エコ運転の実施	中村哲生	7月～6月
		○不要物の積載禁止	中村哲生	7月～6月
		○安全運転の励行及び法定速度の遵守	中村哲生	7月～6月
		○複数の人数で行く場合は、相乗りで行く	中村哲生	7月～6月
		○バックホウのエコ運転		
		掘削積込み作業時は回転数を下げる	中村哲生	7月～6月
		旋回角度を90度以下にする	中村哲生	7月～6月
	電力使用量	○不在箇所の消灯	永井仁美	7月～6月
		○昼休み、帰宅時の消灯	永井仁美	7月～6月
		○パソコン不使用時のモニター電源OFF	永井仁美	7月～6月
		○空調機の温度管理（こまめに設定温度を変更）	永井仁美	7月～6月
		○ノー残業デーの実施	永井仁美	7月～6月
水使用量削減		○食器のまとめ洗い	永井仁美	7月～6月
		○節水シール貼付による啓発	永井仁美	7月～6月
		○漏水の点検	永井仁美	7月～6月
		○井戸水の併用	永井仁美	7月～6月
廃棄物削減	一般廃棄物	○印刷前のチェック	永井仁美	7月～6月
		○ごみの分別	永井仁美	7月～6月
		○コピー用紙の裏紙使用	永井仁美	7月～6月
		○両面コピー、両面印刷	永井仁美	7月～6月
		○過剰包装の辞退	永井仁美	7月～6月
		○共有データの使用で紙印刷を抑制	永井仁美	7月～6月
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別	中村哲生	7月～6月
		○工事の端材の発生をできるだけ抑制する	中村哲生	7月～6月
		○産業廃棄物はできるだけ再資源化業者に委託	中村哲生	7月～6月
化学物質排出量削減		○化学物質使用量の把握	中村哲生	7月～6月
		○化学物質の入っていない材料をできるだけ使用する	中村哲生	7月～6月
環境負荷の少ない工事		○環境負荷の少ない材料の使用	中村哲生	7月～6月
		○低騒音、排出ガス対策型機械の使用	中村哲生	7月～6月
		○省エネ型空調機設置	中村哲生	7月～6月
		○節水型トイレ設置	中村哲生	7月～6月
		○使用に見合った能力製品を選定する	中村哲生	7月～6月

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
	第12条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
	規則第8条	○保管場所の表示 見やすい箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び 建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
騒音規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
振動規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン：2,000ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 （指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵）	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
	第17条の3の2	○消防用設備等設置届書の消防署への提出	着工10日前	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）	第5条	○定期点検の実施 エアコン：3.7kW以上50kW未満 エアコン：50kW以上 冷蔵庫、冷凍機：3.7kW以上 ○簡易点検の実施（廃棄後3年履歴の保存） ○解体前にフロン類機器設置有無を確認、発注者に 書面説明、記録3年間保存義務 ○引取業者回収済証明の確認	1回/3年 1回/年 1回/年 1回/3ヶ月 1回/年 1回/年	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
浄化槽法	第10条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施	年1回	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
	第11条	○年1回の水質検査実施				
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	第5条	○化学物質の排出量、使用量の把握	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
四万十町環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日
石綿障害予防規則	第3条	○建築物、工作物の解体又は改修の作業を行うときは石綿等の使用の有無を調査しなければならない。	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年6月30日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年7月より2024年6月まで、環境関連法規等の遵守確認結果、違反はありません。尚、過去3年間訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

代表者
永井 資士

12. 代表者による全体評価と見直し・指示

■定期見直し
□臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 2023年7月～2024年6月までの間、環境関連法規等の違反・訴訟等はありませんでした。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 軽油の使用量を抑えるため小型ショベルを導入した。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 遠方の現場は宿泊するようにした。 ＜改善提案＞ 現在、代表者及び管理者の指示を社員が受けている状態だが、社員から新たな取組提案を募ってはどうか。 【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】 * 目標値の評価は原単位で評価				【環境経営方針】 変更の必要性： □有 ■無 環境経営方針は現状で問題がない為、これを継続する。	
				【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】 変更の必要性： □有 ■無 目標達成に向けて取組を継続する。	
				【実施体制】 見直しの必要性： □有 ■無 現状の体制で各自が自覚を持って取り組む。	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	【その他】 変更の必要性： □有 ■無 エコアクション21はシステムとして有効に機能している。	
燃料使用量	×	○	取組を継続し状況を確認する。		
電力使用量	×	○	取組を継続し状況を確認する。	【総括】 （環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載） 目標が達成できない項目もあるが、高い意識を持って継続していく事が重要である。 全体的には、意識が根付いてきている様に感じている。 高知県SDGs企業登録をしたこともあり、更なる行動変容を促していく。	
CO2 排出量	×	○	取組を継続し状況を確認する。		
用水使用量	○	○	取組を継続し状況を確認する。		
一般廃棄物排出量	×	○	取組を継続し状況を確認する。		
産業廃棄物排出量	○	○	取組を継続し状況を確認する。		
産業廃棄物再資源化率	×	○	取組を継続し状況を確認する。		
環境負荷の少ない工事	○	○	取組を継続し状況を確認する。		
環境美化活動	○	○	取組を継続し状況を確認する。		
＜改善提案＞					
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より 2023年7月～2024年6月までの間、外部からの苦情・要望等はありませんでした。 ②環境関連法規制等の動向他 特になし ＜改善提案＞ 特になし					
代表者が自ら得た情報					
特にありません。					